

### オンライン利用の充実

#### 取組の背景・目的

- 令和2年4月に旧児童館から中高生プラザに新規設置された施設となり、開館曜日、開館時間の拡大がされました。そこで、小学生の活動（学童クラブ含む）はもとより、子育てひろば事業、中高生居場所づくりの充実を目指しました。
- 加えて、地域に根差した施設づくりとして、児童と地域住民や他施設利用者との交流を目指しました。
- コロナ禍における人流の抑制を念頭に、オンラインを利用した交流事業の展開も目指しました。

#### 取組の概要

- 実施場所  
赤坂子ども中高生プラザ青山館
- 実施頻度  
年数回
- 職員体制
  - ① Eスポーツ交流 2名
  - ② 児童・高齢者交流 2名
  - ③ 学童クラブ保護者会 3名 など
- 事業の実施方法
  - ①② 他施設の担当者と連絡調整を事前に行い、当日 Zoom をつないで実施。
  - ③ 事前にオンラインを希望される保護者に、ログインパスワード等を個別にお知らせし、実施。

## 工夫点・留意点

- Eスポーツでは、ゲームの映像でのみのやり取りであったため、実際にゲームをしている様子を、別ラインでつなげ子どもたち同士の様子を見られるようにした。  
1ライン ゲーム、 1ライン 交流 計2回線使用
- 学童クラブ保護者会では、オンライン参加をされる方々には、マイク・カメラを off していただくようお願いをした。  
発言があるような場合は、アイコン等による表示を依頼した。
- 事前に、画像や音声の他参加者への提供について、個人情報確認を行った。

## 取組の効果

- コロナ禍の日常から、公共交通機関を利用して他施設へ移動することが難しい状況であることから、移動を伴わない交流を行うことができた。
- 学童クラブの保護者会においては、仕事の都合等もあり、なかなか施設に来館することが難しい保護者もいたため、参加率はあがった。また、直接来館をしていただき対面で行う保護者会も実施し、保護者がより参加しやすい選択肢を提供することができた。

## 課題・今後の展開

- 継続的に実施をしていく。
- 他施設交流として、2施設だけでなく、複数施設との交流につなげていきたい。